

「透析関連感染サーベイランス 透析用静脈内カテーテル感染率の比較と効果的な感染対策の検討」 についてのご説明

1. 研究の背景と意義

感染症は全透析患者の死因第2位、透析導入年においては2006年より心不全を抜いて第1位と、長年にわたり死因の上位を占め、患者の予後を大きく左右する合併症です。透析用カテーテルが留置された患者の菌血症の相対リスクは、内シャントが造設された患者の7倍です。透析関連感染サーベイランス活動は、感染防止策が遵守され有効に作用しているかどうかの指標となると考えます。

2. 研究の目的

感染リスクの高い透析用カテーテルのサーベイランスを行い、感染率低減に向けた透析用カテーテルの管理方法の改善を探り、病棟と透析室が協力してケアの改善に取り組む事を目的としています。また、当院の透析関連感染サーベイランスの構築を2つ目の目的としています。

3. 研究の内容

対象：当院に入院し、血液透析を目的に透析用静脈内カテーテルを挿入し血液透析を施行する患者を対象とします。

方法：得られたデータは、透析関連感染サーベイランス研究グループが公表しているデータと比較し検討します。透析用静脈内カテーテル（短期・長期）の感染率と医療器具使用比の比較には χ^2 検定またはフィッシャーの直接確率検定を用います。

4. 資料等の保存および使用方法について

記録の保管責任者は研究責任者とします。被験者から提供された研究に関するデータは、個人を特定できない形式に記号化した番号により管理されるため、被験者の個人情報が入部に漏れることはありません。

5. 研究の期間と予定症例数

研究倫理審査委員会承認後～2029年10月までの期間で、目標症例数約300人で、分母データとなる延べ透析日数（透析アクセス回数）3000回以上を予定しています。

6. 個人情報の取り扱いに関して

研究対象となる方のカルテなどを閲覧はしますが、研究対象者の名前など個人を特定する情報は決して院外に漏れる事はありません。研究の成果を学会、雑誌等外部に発表をする場合には、研究対象者となる方の名前など個人を特定する情報は発表されません。

7. 本研究への参加を拒否する場合

本研究への参加に同意しない場合は、9.の連絡先までご連絡ください。

8. 研究資金および利益相反管理について

本研究における特別な研究資金はありません。本研究の利害関係については、研究倫理審査委員会の審査を受け承認を得ています。

9. 申請/川島会研究倫理審査委員会承認番号

川島病院：1474

10. 研究機関、研究責任者および連絡先

➤ 研究機関：社会医療法人川島会 川島病院

- 研究責任者：楮山 祐子
- 連絡先：088-631-0110